



笠間小中合同あいさつ運動

7月11日（火）の朝の時間に笠間小中合同あいさつ運動を行いました。稲垣先生引率のもと、1年生から3年生までの生活安全委員会の生徒が笠間小学校へ行き、2か所に分かれて実施しました。小学生と中学生が明るい笑顔であいさつを交わす姿は、とてもすがすがしいものでした。



第1回学校保健安全委員会を実施しました

7月11日（火）に第1回学校保健委員会を行いました。定期健康診断結果などについて協議した後、学校歯科医の松井慎太郎先生から「予防歯科について」の講話をいただきました。お口の中のトラブルで一番多い虫歯は、歯を磨いていても唾液の量や歯の形状などでなりやすさが違ってきます。また、中学生になると小学生のときと比べて、保護者の目が行き届かなくなり、歯磨きがおろそかになって虫歯が多くなることもあるそうです。対策としては、何本もまとめて磨かず、一本ずつ細かく磨く意識をもつことと歯ブラシだけでなくフロスや糸ようじなども利用するとよいそうです。フッ素（フッ化ナトリウム）は歯の表面を虫歯になりにくくするので、フッ素入りの歯磨き粉を使ったり、歯科医院でフッ素塗布したりすることも効果があるそうです。



そうはいっても、虫歯予防の基本は虫歯の原因となる汚れを残さないことであり、寝る前の歯磨きが特に重要だそうです。

笠中生にすすめたい一冊の本⑧

今回は、住野よるのデビュー作で300万部突破の人気小説「君の臍臓をたべたい」を紹介します。

主人公で高校生の「僕」は、盲腸の抜糸のために行った病院で一冊の文庫本を拾う。タイトルは「共病文庫」。それはクラスメイトである山内桜良が綴った、秘密の日記帳だった。そこには、彼女の余命が臍臓の病気により、もういくばくもないと書かれていて……。

それまで、他人と関わるのが苦手な一人でいることが好きな僕は、桜良のペースで食事や旅行に出かけるうちに、少しずつ周囲の人に心を開いていくが……。

この本は、朝ドラ「らんまん」に出演している浜辺美波が桜良役を演じて映画化され、話題となりました。「君の臍臓をたべたい」という題名は、読む前にホラー小説かと思ってしまうかもしれませんが、読後、きっと誰もがこのタイトルに涙する……。そんな気持ちにさせられる一冊です。



※このコーナーで紹介した本は、図書室に置いてあります。